

調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」◇全国学力	指導上の課題
◎<タイプ I 二 (5)>「使ひけり」を現代かなづかいに直すことができなかった。 (通過率 73.3% → 県差 -16.0%) ◇国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く問題ができなかった。 (通過率 47.6% → 県差 -13.2%)	◎現代かなづかいに直すときの原則を徹底しきれていなかった。類題に繰り返し取り組むことが少なかった。 ◇辞書で意味を調べるのみでとどまり、文章中で正しく使いこなす指導が徹底しきれていなかった。

生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み
～授業において～

◎現代かなづかいに直すときの原則を確認する。古典の授業の時はもちろんだが、それ以外の時にも古典の基本を確認する問題に繰り返し取り組ませる。

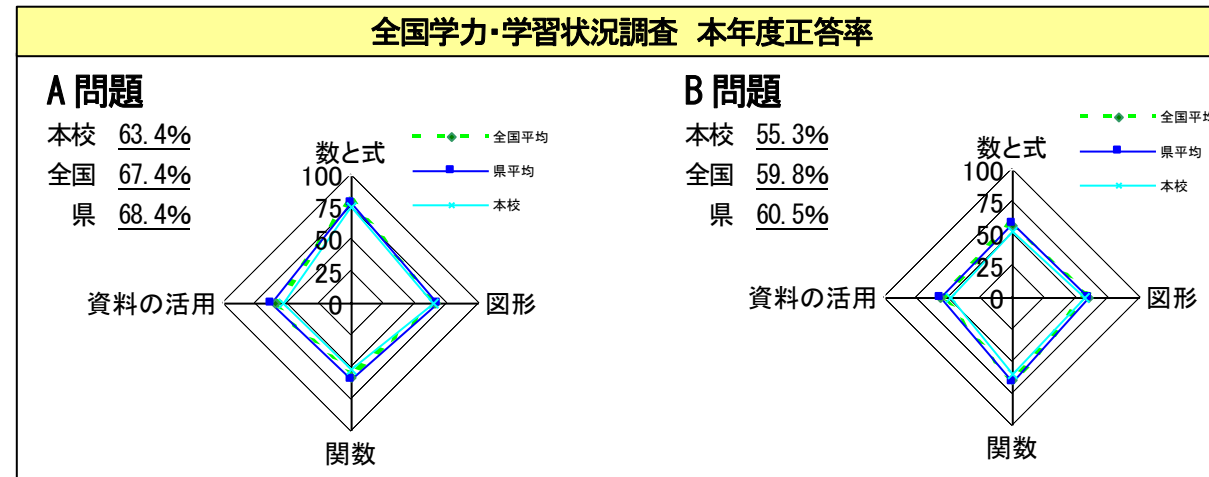
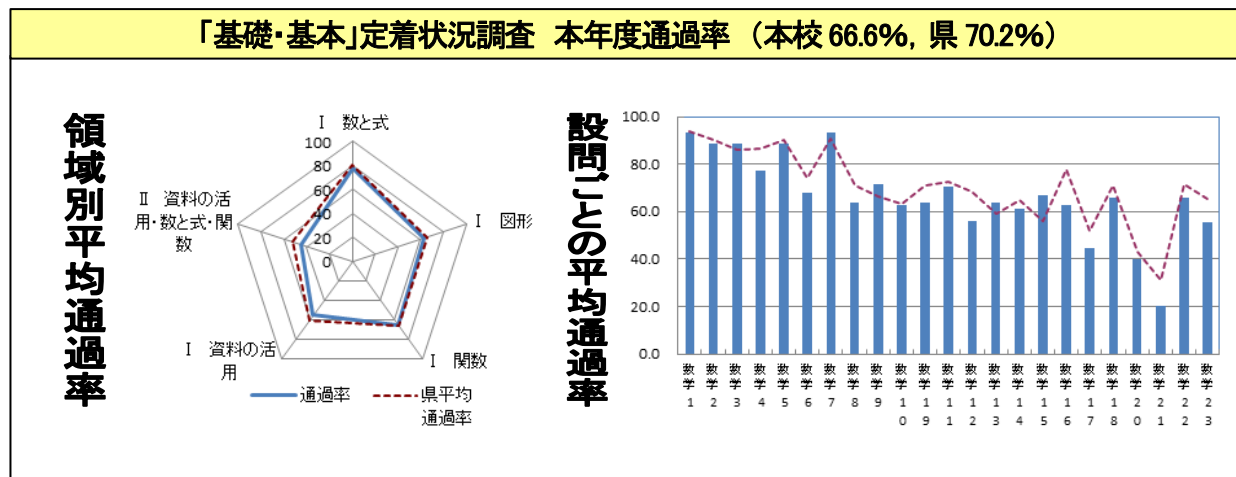
◇読みもの教材に入る際は必ず辞書を使って意味を調べ、語彙力を高めていく。また、重要語句は、意味を調べるだけでなく、文章中で使いこなす問題に繰り返し取り組ませる。

実施スケジュール	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	PLAN	DO			CHECK		ACTION			
	改善シートの作成		1・2年生「基礎・基本」類似問題		1・2年生「H26 基礎・基本」問題	1・2年生「福山市調査問題」	改善計画の見直し			

検証	○時期：2月	○方法：福山市調査問題	○目標：言語知識に関する類題の通過率を55%以上	○結果：57.4%
----	--------	-------------	--------------------------	-----------

2014年度（平成26年度）授業改善シート〔数学〕

校番(30) 福山市立新市中央中学校

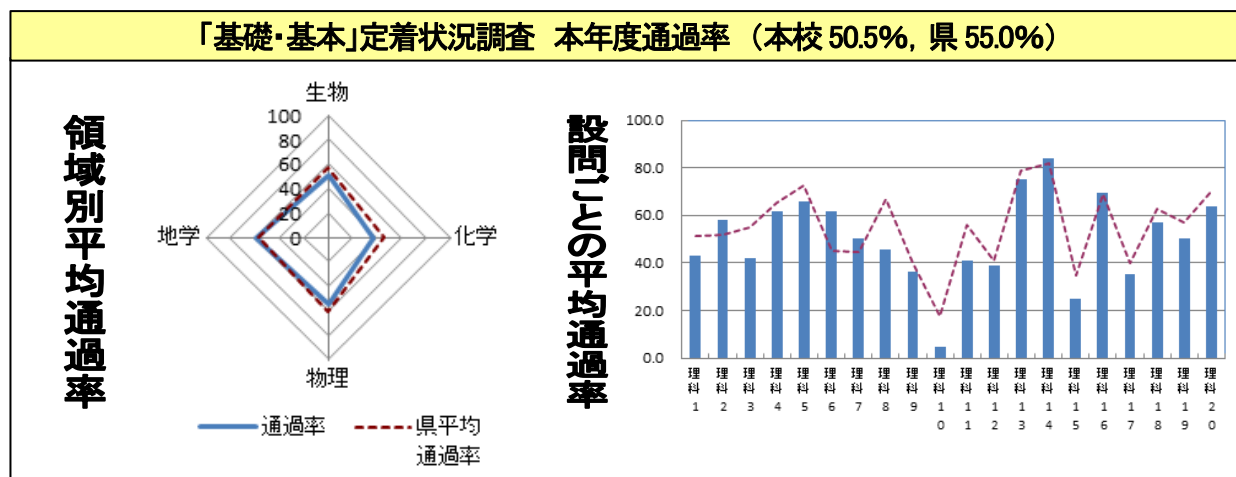


調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」◇全国学力	指導上の課題
<p>◇<1 1 - (2)> 比例の関係を使って、くぎの本数を求める方法を説明することができない。（通過率 55.2% → 県差 -10.0%）</p> <p>◇<数学 A 10 (1)> $x=2, y=6$ の比例の式を求めることができない。（通過率 42.9% → 県差 -14.0%）</p>	<p>◎比例の関係を、対応表、式、グラフを関連づけて表現する指導が徹底できていなかった。</p> <p>◇「比例の式」という言葉と「$y=ax$」の式の形を合わせて、指導することが徹底しきれなかった。繰り返し取り組むことが少なかった。</p>

生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～
<p>◎単語や結果だけを求めるのではなく、発表や理由を書かせる等の場面で、数学用語を意識させるよう取り組んでいく。</p> <p>◇「比例の式は$y=ax$である」ということを再度確認し、学年や単元を越えて繰り返し取り組ませる。</p>

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実施スケジュール	PLAN	DO			CHECK		ACTION			
	改善シートの作成			1・2年生「基礎・基本」問題		1・2年生「福山市調査問題」	改善計画の見直し			

検証	○時期：2月	○方法：福山市調査問題	○目標：比例の関係に関する類題の通過率を60%以上	○結果：69.2%
----	--------	-------------	---------------------------	-----------

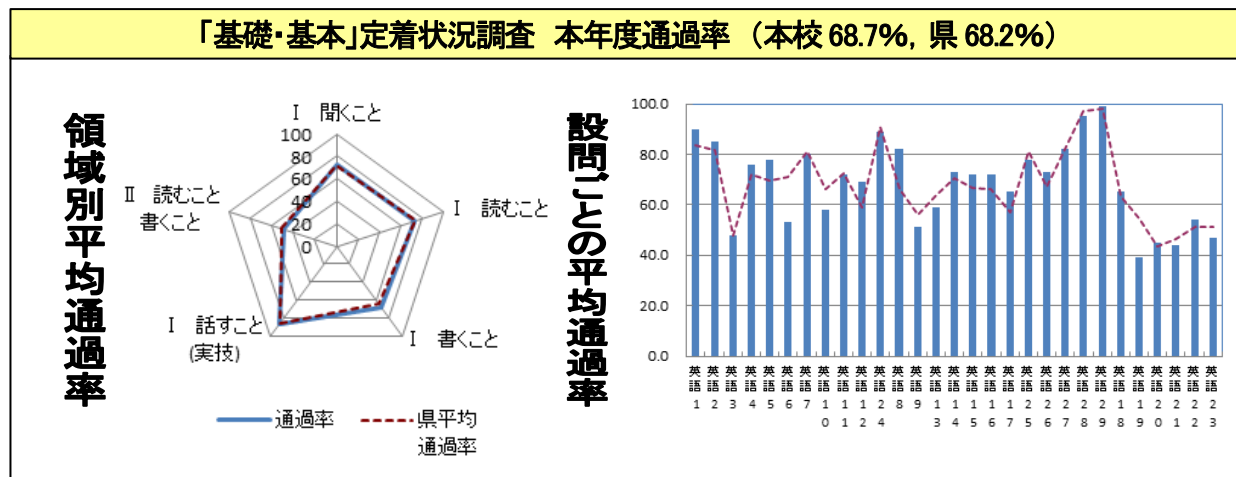


調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」	指導上の課題
◎化学領域において水溶液の均一性に関する問題ができていなかった。 (通過率 45.7% → 県差 -21.1%)	◎水溶液とは何かという理解が不十分なまま結晶による物質の特定や溶質の再結晶の内容に入ったために、水溶液の中では溶質が均一に分散していることが理解できていなかった。
◎生物領域において双子葉類の特徴に関する問題ができていなかった。 (通過率 41.0% → 県差-15.2%)	◎いろいろな植物の根、茎のつくりの観察を行い、その観察記録に基づいて、根、茎のつくりの基本的な特徴を見いだす手順が不十分であった。

生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～
◎物質が水に溶ける様子の観察を行い、生徒自らが水溶液の中では溶質が均一に分散していることを見いだすように授業を進める。
◎花や葉、茎、根の観察記録に基づいて、それらを相互に関連付けて考察し、植物が体のつくりの特徴に基づいて分類できることを見いだすとともに、植物の種類を知る方法を身に付ける。科学用語について、授業で説明し、小テスト等で理解の定着を図る。また実験・観察の際には、レポートを作成し、結果をまとめ考察し、交流する時間を設定し、自然事象についての知識・理解にとどまらず、科学的な思考・表現力を培っていく。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実施スケジュール	PLAN	DO			CHECK		ACTION			
	改善シートの作成		1・2年生「基礎・基本」類似問題		1・2年生「H26 基礎・基本」問題	1・2年生「福山市調査問題」	改善計画の見直し			

検証	○時期：2月	○方法：福山市調査問題	○目標：類似問題の通過率を50%以上	○結果：化学領域76%，生物領域65%
----	--------	-------------	--------------------	---------------------



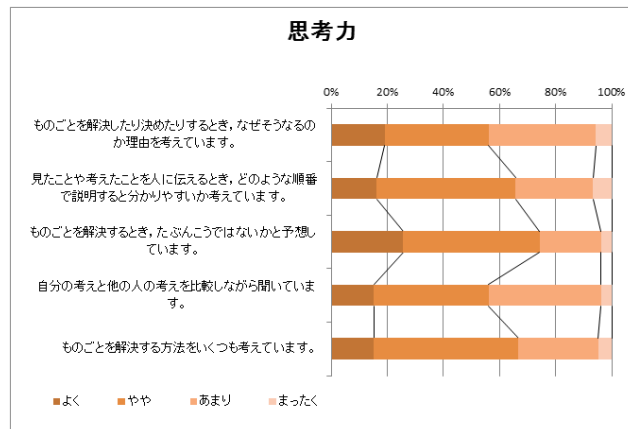
調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」	指導上の課題
<p>◎<タイプII 1 1 (2)>ポスターの情報を読み取り、対話の内容を理解して答える問題に課題がある。「あてはまらないもの」を選ぶ設問であるが、43%の生徒があてはまるものを選んでいく。(通過率 39.0%)</p> <p>◎<タイプI 3 (2)>情報を正しく聴き取り答える問題に課題がある。ThursdayをTuesdayと答えた生徒が、39%いる。(通過率 53.0%)</p>	<p>○資料等を読み取り答える問題を十分に設けていなかった。</p> <p>○授業はじめの挨拶に曜日を入れているが、正確な発音を十分にさせていない。</p>

生徒の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～
<p>○教科書の本文にある資料等を用いての対話を膨らませる。</p> <p>○授業はじめの挨拶を、クラス全体の大きい声だけではなく、一人一人が正確に発音できるよう、個々に指名し、確認していく。</p>

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実施スケジュール	PLAN 改善シートの作成	DO	1・2年生「基礎・基本」類似問題		CHECK 1・2年生「H26 基礎・基本」	1・2年生「福山市調査問題」	ACTION 改善計画の見直し			

検証	○時期：2月	○方法：「福山市調査問題」	○目標：類似問題の通過率を+5%以上	○結果：<タイプII 11(2) +33.6% タイプI 3(2) +30%>
----	--------	---------------	--------------------	---

(1) 生活・学習

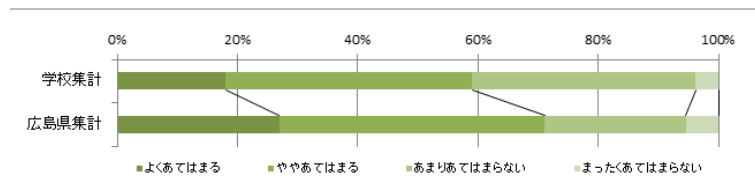


生徒の回答についての課題（現状値） ◎「基礎・基本」◇全国学力	課題改善のための日常的な取組み
◎「自分の考えと他人の考えを比較しながら聞いています。」の質問にあてはまると答えた生徒の割合が低い。(56.2%, 県差-13.8%) ◇「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。」の質問にあてはまると答えた生徒の割合が低い。(74.8%, 県差-7.4%, 国差-7.3%)	◎教科や道徳の授業や生活ノートへ記入等で他人の意見と比較した発言や記述に取り組む。 ◇授業や集会において、その時々をのニュースを話題に取り入れた話を行い、興味関心を高める。また、生活ノートにもニュースを話題とした記述をさせる。

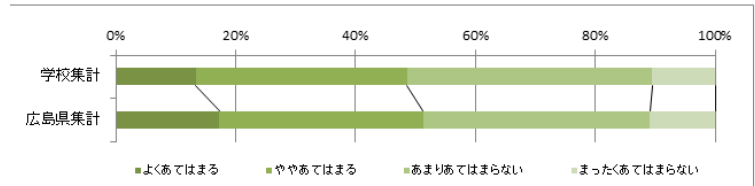
検証	○時期：12月 ○目標：◎60%, ◇80%	○方法：生徒アンケート ○結果：◎76%, ◇83%
-----------	---------------------------	-------------------------------

(2) 教科

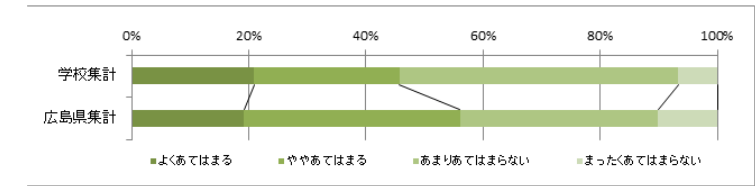
国語の授業では、場面の様子や移り変わり、人物の気持ちを表現している言葉や文に注意しながら、物語などの文章を読んでいます。



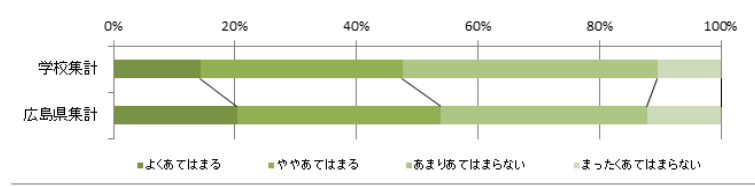
数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題（現状値） ◎「基礎・基本」◇全国学力	課題改善のための日常的な取組み
国語	◎場面の様子や移り変わり、人物の様子や移り変わり、人物の気持ちを表現している言葉や文に注意しながら、物語などの文章を読んでいます。(59.0%) ◇国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いています。(66.6%)	◎心情などを表す言葉に線を引かせる。それを習慣づけ、変化を読み取れるように取り組ませる。 ◇自分の考えを書く際には、なぜそう考えたかという理由を書く指導を行う。ノートにメモ欄を作り、自分の考えが残るノート指導を行う。
数学	◎解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明をしています。(48.6%) ◇数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えます。(49.0%)	◎発表の内容や授業の振り返りを書くときに、数学用語を使いながら文章表現をするよう意識させていく指導をする。「なぜ」「どうして」という切り返しの発問を効果的に入れていく。 ◇身の周りの具体的な例をあげることで、数学が身近な存在であることの理解を深める。
理科	◎理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。(45.7%)	◎不思議に思ったことを解明するための計画を立てる。予想を立てて、実験や観察をしながらその疑問を解いていく作業に重点を置いていく。
英語	◎自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。(47.6%)	◎授業はじめの挨拶などに、日付や天候だけでなく、深く考えて答える質問をしていく。

検証	○時期：12月 ○結果：国語◎+11.6% ◇+5.9%, 数学◎-1.1% ◇+0.9%, 理科◎+10.2%, 英語◎+12.7%	○方法：生徒アンケート ○目標：+5%
-----------	--	------------------------